

特別企画

中学部活動の地域移行を見据えて、 スポーツ少年団と連携しているクラブ

うおづスポラ ＜富山県魚津市＞

総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのために、スポーツ少年団をはじめとする地域のスポーツ団体等と相互扶助の関係を築き、地域社会からの信頼性を確保し、地域に根差す団体となる必要があります。

そこで今回は、スポーツ少年団と連携し、地域におけるスポーツ推進体制を高めているクラブを紹介します。

1 クラブ概要

うおづスポラ(以下スポラ)は、市内公共スポーツ施設を一括管理する公益財団法人魚津市体育協会により設立された総合型地域スポーツクラブです。設立当初は、管理施設の利用促進を主目的とし、ニーズに沿った教室事業開催に努め、クラブの基礎となる利用会員と財源の確保に努めてきました。

★クラブのミッションは「市民の健康増進とコミュニティーの創出」

管理施設のみならず、市内スポーツ振興の中心的な役割を担えるクラブに成長することが、スポラの使命だと考えております。

★体育協会による「安心・安全な施設管理」の下、スポラによる「スポーツ振興」

ハード面とソフト面でそれぞれの役割を明確にすることで、スタッフ一丸となった運営に取り組むことが可能となります。

年間30教室開催 スポ少チームのサポートも

市民のニーズに沿った事業運営を心掛け、年間30教室の開催、月1回ペースでのイベント開催、7競技のクラブチーム(スポーツ少年団含む)サポートなどを通して、市内での認知度の広がりを実感しております。それに伴い、拠点施設での安定的なクラブ運営が可能となってきました。

拠点施設で積み上げる実績はクラブの基礎であり宝物です。それら積み上げてきた基礎を地域に広げることがスポラの「スポーツ振興計画第2章！」となり、現在進行形でクラブ運営に取り組んでいます。

地域団体との積極的な関わりにより、互いに知恵を出し合い、互いの弱点を補いながら、相互にメリットのある事業開催を心掛けております。

現在、スポラの会員数は770名ですが、会員数以上に市民との関わりを実感しております。

2 陸上・バドミントンなど7チームの運営を支援

ニーズに応じ「多項目体験型」から「専門性の高い教室」にシフト

魚津市には、15種目27団のスポーツ少年団があります。現在、スポラでは、陸上・バドミントン・卓球等7チームのサポートを実施し、普及振興と競技力向上を目指して、共に運営に取り組んでいます。

スポーツ少年団には、当クラブが主催する低学年を対象とした多項目体験教室への、スポーツ少年団登録指導者派遣による事業運営にご協力をお願いしてまいりました。色々な競技体験を通して、「自分のやってみたいスポーツを見つけてみよう」というコンセプトのもと、相互にメリットの生まれる事業として10数年にわたり事業運営をしてきました。

時代の変化によるものでしょうか。いつしか、多項目体験教室のニーズが無くなり、単一種目教室の需要が高まってきました。興味のあるスポーツをじっくりやりたいという要望に応える形で、当クラブの事業も体験型教室からより質を求めた専門性の高い教室展開にシフトしました。

ジュニア教室の改編を機に、当クラブの会員数は増加傾向となり、安定したクラブ運営が可能となりました。ニーズに素早く対応した成果だと考えています。しかし、クラブの会員数が増加傾向に転じたことを機に、スポーツ少年団の団員が減少傾向となりました。



小中一貫指導の陸上スポーツ少年団「MT.SUPOLA」



小学生のバドミントンスポーツ少年団「魚津ジュニアバドミントン」

利用小学生会員にはスポ少登録への選択肢も クラブとスポ少は兄弟関係

スポラの利用会員は、年々更新登録をしてくれる子どもたちが増えています。クラブ単体で考えた時に、それは大変うれしいことではありますが、小学生の利用会員には生涯スポーツとして実施しているスポラでのスポーツ活動の他に、競技スポーツとしてより夢中にスポーツに打ち込むことができるスポーツ少年団への登録移行という選択肢も提案できることが理想と考えています。

なぜなら、総合型クラブとスポーツ少年団の母体が同じ市体育協会であり、関係性で言えば兄弟のようなものです。市内公共スポーツ施設の指定管理業務を受託している市体協としては、カラーの異なる兄弟ではあるもののスポーツ振興という観点では共通のビジョンを描く団体です。

スポーツ振興に向けスポ少との連携は不可欠

スポラの幼児・小学生会員のみなさんは、当市におけるスポーツ振興の宝物です。その子どもたちにスポーツの楽しさ・コミュニティーの創出・勝つ喜びなど、より多くの経験ができる選択肢を与えてあげることが必要だと考えており、総合型クラブとスポーツ少年団の連携は不可欠であると考えています。現実問題として、スポーツ少年団が受け皿になれていないのが現状で、互いの共通理解がまだまだ必要です。

活動施設が無くなったスポ少をサポートチームとして受け入れ

公共施設再編により、スポーツ少年団の子どもたちが常日頃から活動していた施設が一つ無くなりました。少子化、コロナ禍…。あまりいい話が無い現代において、先行きが見通せないことばかりです。しかし、こんな時だからこそ危機感を持ち、他市町村でもありそうな相互がモヤモヤしている色々な話を前に進めることができます。

スポラでは、活動施設を失ったり、もっと活発に活動をしたいと考えているスポーツ少年団などをサポートチームとして受け入れています。また、スポーツ少年団事務局との共同主催によるイベントの開催や団への指導者派遣等を通じて、総合型クラブとスポーツ少年団との関わりを年々深めております。

サポートチームとして受け入れる団には、「競技団体の理解を得ていること」「普及教室を開催すること」「中学部活動を視野に入れた指導」等をスポラから団への要望として提示しております。

3

施設確保・広報活動等でスポ少側にメリット

サポートチームに所属する団員は、スポーツ少年団登録とスポラへの会員登録が必要となります。そこで、「負担増になることで何が変わるのか」という話になります。これまで以上に団活動が活発になるように下記内容の支援を実施しています。

具体的なサポート内容

■「日々の活動場所確保」

より良い活動ができるようにスポーツ少年団とクラブで活動場所の確保に努めています。現在、コロナ禍ということもあり人数の多い団では、全団員がそろって練習することが厳しい状況です。できる限り練習日を確保できるように、クラブから別会場の提案をしたりしています。

■「広報活動」

安定した団員確保に向けて、クラブのHPやSNS等を活用して団の紹介や活動の様子を広く周知しています。団単体では情報の拡散がなかなか困難なため、クラブも共に情報発信に努めています。

■「物品(備品)支援」

クラブが所有するスポーツ備品等を自由に活用することができ、日々の練習がバリエーション豊かになるよう活用してもらっています。また、登録団員数に応じて、各団で使用する消耗備品の購入補助を実施しています。

クラブの支援で団保護者会の負担軽減に

各団が保護者会を中心に独自に施設確保や広報活動に取り組んできたわけですが、スポラが支援することで、保護者会の負担を減らすことができました。

また、スポラが長年こだわってきた広報力を活用することにより、団活動の様子や団員募集等の情報を拡散することが、これまで以上に可能となりました。少子化による団員確保が年々難しくなる中、広報による支援は、とても大きなメリットとなりました。

市体協母体のメリット生かし指導者を確保

さらに普及教室を実施することにより団員確保の機会をつくり、普及教室の指導には、団指導者の他、競技団体からの指導者派遣により指導者の確保に努めております。市体協が母体であることのメリットを最大限に生かした形であると考えております。

それぞれの団体が独自に活動していた時代から、総合型クラブを中心(きっかけ)に当市のジュニアスポーツは変わろうとしています。これらの取り組みを基礎として、さらに広がりを見せることに期待しています。

ただ、サポートするチームが増えることで「これまで同様の支援ができるか」となると、また難しい課題となるのが現実です。今後、スポーツ少年団との共通理解をより深めた中での運営が求められてくるものと考えています。



陸上スポ少の普及教室「かけっこスクール」



スポラ会員とスポ少団員との交流イベント

4 「中学部活動の地域移行」に対応できるクラブを目指す

ジュニアスポーツにおいて、現在全国的に話題となっている「中学部活動の地域移行」に対応できるクラブになることが目標です。

中学部活動の指導を視野にスポ少と取り組む

これまでご紹介したスポーツ少年団との新たな取り組みは、中学部活動の指導を視野に入れた新たな形づくりの一つです。中学部活動の地域移行については、当市においてまだまだ議論が深まっていないのが現状であり、今後どういう方向性が示されるかまだ分かりません。ただ、当然のことながらこれから先、長期的な指導体制が求められてくることは間違いありません。

スポラでは、小中一貫指導による組織づくりが安定的指導体制へつながるものと考えており、まずは小学生世代までの盤石な基礎づくりに取り組んでいます。

スポラの活動が契機となり、スポーツ環境に変化の兆し

しかし、支える側の数にも限界があり、小さな町では個々の団体にできることには限りがあります。体協・総合型クラブ・競技団体・スポーツ少年団などスポーツ団体は多数ありますが、同じ目的に向かうためには、まだまだ課題は山積みです。しかし、スポラの活動がきっかけとなり、市のスポーツ環境が変わろうとする兆しが出てきました。スポラは今後も地道にコツコツと体制づくりに取り組んでいきます。

(うおづスポラ クラブマネジャー 澤田 樹孝)

クラブプロフィール

設立年月日 平成16年3月14日

所在地 富山県魚津市北鬼江2898-3

運営 会員数770名(令和4年2月現在)、予算規模1,100万円(令和3年度)

特徴

- ▶市内公共スポーツ施設を一括管理する(公財)魚津市体育協会が運営する総合型地域スポーツクラブ
- ▶多世代を対象に教室・サークル・クラブチーム活動等幅広く活動を展開
- ▶魚津市内全域を対象とした事業運営

連絡先 〒937-0066 富山県魚津市北鬼江2898-3 ありそドーム内

TEL 0765-23-9800 FAX 0765-23-9802

URL <https://spo-uozu.com/supola/>

E-Mail u-supola@spo-uozu.com